

無料

新しい認知症ケア
を体験しよう！

およそ70,000人。

認知症の方の
記憶を呼び起こした

対話型

アートプログラム

(アトリップ)

場所

平山郁夫シルクロード美術館

北杜市長坂町小荒間2000-6 TEL 0551-32-0225

専門職
向け

12/8 金 14:00-16:00

対象者 認知症に係る専門職、認知症カフェ従事者

定員 30人（先着順・要申込）

プログラム
Ⅰ. 講演「アトリップによる認知症ケア」
講師 アーツアライブ代表 林 容子 氏
Ⅱ. アートプログラム（アトリップ）体験
アートコンダクター 横山 綾子 氏・興石 美和子 氏
Ⅲ. 質疑・意見交換

市民
向け

12/22 金 14:00-15:30

対象者 北杜市民、認知症の人とその家族

定員 30名（先着順・要申込）

プログラム
アートプログラム（アトリップ）体験
アートコンダクター 横山 綾子 氏・興石 美和子 氏

お申込み
お問合せ



北杜市 市民部

介護支援課 包括支援担当 TEL,0551-42-1336

特別協力：公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館/一般社団法人ArtsAlive

協力：公益社団法人認知症の人と家族の会山梨県支部峡北地域「虹の会」/ほとくの介護応援隊はれのひ

アトリップとは

グループでアートを見て進行役のアートコンダクターの質問に答えながら、参加者が感じたこと、思ったことを自由に発言、共有する対話型のプログラムです。プログラムに参加することで自尊心が高まり、うつが軽減、QOLが向上すると言われています。



杉本欣哉 | 若年性認知症当事者
杉本智穂 | Acafe ええかふえALL
(若年性認知症カフェ)
あみけるひろば横浜共同代表
認定アートコンダクター

アートトリップは被介護者と介護者が同じ空間でアートを通して同時に喜びを得ることができます。そして、介護者である自分は、それまで物陰に隠れて観察するような冷たい感覚から自由になりました。生活にハピネスを持ち帰り色々なことをかんがえてる事や会話して楽しいなとあらためて夫のことが好きになりました。

佐藤雅彦 | 日本認知症ワーキンググループ
共同代表

絵画を見て、感じたことを言葉にするので感性が磨かれ、脳の活性化によく、今まで忘れていた感情を呼び起こし、気持ち良い気持ちになるのです。すばらしいプログラムだとおもいます。固定観念にとらわれず、自由な発想で感じられるのでやっていて楽しいです。

ケアマネージャー

私が担当するお客さま(認知症患者)が2名参加していました。今回参加したプログラムを通じて彼らの新たな一面をみることができました。Aさんは人前で話すのが苦手な方でしたが、アートエデュケーターの助けを借りながらご自分の意見をしっかり表現することに驚きました。またBさんがアートを前にして真剣に考えている姿は普段とは違って新鮮でした。

豊住美江 | 社会福祉福法人春献美会
介護事業部統括責任者

一緒にアートを観賞していますが、いつも認知症の方の発想力、想像力、発言力の豊かにおどろかされています。私達はプライドか邪魔をして、言葉を選んでしまいがちですが、認知症の方々は思いのままを言葉にする。それが実に素敵。

アーツアライブ 林 容子代表からのメッセージ

アーツ(美術・音楽・ダンスなど)の力を通し、すべての人に日常では味わえない新たな感動を届け、創造する喜びと生きる活力を得てもらう。つまりARTでALIVE(生き生き)させることを目的に生まれた「アーツアライブ」。そのひとつの活動がARTRIP(アートコミュニケーションプロジェクト)です。脳の眠っている部分が刺激され、記憶がやがて蘇ってくる…。薬では治すことのできない認知症において、新しい可能性がアートから生まれています。私は、たくさんの方に実際にお会いし、そして感動的な場面に幾度となく出会っています。人が生きる喜びを、そして生きている実感をぜひ、体験ください。



一般社団法人ArtsAlive
 代表 林 容子 氏

介護施設の方へ

アートに描かれている色や形は、認知症のある方にとって非常に識別しやすいもの。つまり、簡単で、わかりやすい素材をベースにしていることがアートコミュニケーションのポイントです。また、元気な頃にはアートに親しまれた方も多く、そういう方にも、より積極的に参加していただけるプログラムです。ふだんの介護の中では題材として取り上げづらいアートだからこそ、実際に体験していただければ、そのよさを実感していただけたと思います。

家族の方へ

ご本人の記憶がよみがえった時、あるいは元気になられた時、ご本人と同じ以上に喜ばれるのが家族の方です。表情が次第に変わっていく、声に自信が感じられるようになっていく、眼に力を感じられるようになっていく…。待ち望んでいた一瞬、一瞬が目の前で起こっていく…。そんな体験をぜひ、していただきたいと思っています。

(一般社団法人ArtsAliveホームページから北杜市が作成)



公益財団法人

平山郁夫シルクロード美術館

Hirayama Ikuo Silk Road Museum

北杜市長坂町小荒間2000-6 TEL 0551-32-0225

